

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

<b>事業名</b>	国際宇宙ステーション開発に必要な経費			<b>担当部局庁</b>	研究開発局	<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成15年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	宇宙開発利用課	宇宙開発利用課長 上田 光幸	
<b>会計区分</b>	一般会計						
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	宇宙基本法 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構法第十八条			<b>関係する 計画、通知等</b>	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構第4期中長期計画 宇宙基本計画(令和2年6月30日閣議決定) 等		
<b>主要政策・施策</b>	宇宙開発利用			<b>主要経費</b>	文教及び科学振興		
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	「民生用国際宇宙基地のための協力に関する宇宙基地協力協定」等の国際約束に基づき、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)が実施する国際宇宙ステーションの運用等に要する経費に対して補助を行い、新たな技術・科学的知見の獲得や国際協力の推進などを行うことを目的とする。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	新たな技術・科学的知見の獲得や国際協力の推進などを目的として、国際宇宙ステーション(ISS)／日本実験棟「きぼう」の運用・利用を確実に実施する。また、新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)の開発を着実に実施する。具体的には、国際宇宙ステーションの運用を通じて国際協力を推進するとともに、「きぼう」における様々な実験を着実に実施し、今後の宇宙開発利用に必要な新たな宇宙技術の獲得や社会的利益につながる科学的知見の獲得を目指す。加えて、HTV-Xの開発、打ち上げに向けた準備等を通じて、国内宇宙産業等の振興にも寄与する。また、米国が提案する月周回有人拠点「ゲートウェイ」を含む国際宇宙探査への効率的かつ効果的な参画を目指し、我が国が強みを有する技術(有人滞在技術等)による協力に必要な研究開発を着実に実施する。(補助率:定額) 注)日本が得ているISS/「きぼう」利用の権利(リソース)を使う実験・研究は運営費交付金で実施している。						
<b>実施方法</b>	補助						
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
		当初予算	28,580	25,983	29,531	18,630	33,258
		補正予算	5,656	22,253	13,336		
		前年度から繰越し	427	976	10,069	16,014	
		翌年度へ繰越し	▲ 976	▲ 10,069	▲ 16,014		
		予備費等	-	-			
	計	33,687	39,143	36,922	34,644	33,258	
	執行額	33,688	39,143	36,922			
	執行率 (%)	100%	100%	100%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	98%	81%	86%			
<b>令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	国際宇宙ステーション開発費補助金	18,630	33,258	令和2年6月30日に閣議決定された宇宙基本計画について、その工程表に沿った開発を着実に進めるために所要の経費を計上しているもの。 ※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。			
	計	18,630	33,258				

活動内容 (アクティビティ)	「このとおり」・HTV-Xの運用による国際宇宙ステーション計画への継続的な貢献により可能となる有人宇宙活動を通じた日本の国際プレゼンスの発揮										
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	宇宙ステーション補給機 (HTV、HTV-X)の安定的かつ効率的な運用	JAXAが行う宇宙ステーション補給ミッションの実績	活動実績	件	1	1	0	-	-		
			当初見込み	件	2	1	0	1	1		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	直近4年間にJAXAが行った宇宙ステーション補給機ミッションによるISSの共通的なシステム運用経費負担額(国際宇宙ステーション開発費補助金の内数)/直近4年間にJAXAが行った宇宙ステーション補給ミッションの実績(件数)			単位当たりコスト	百万円	28,626	22,696	15,504	19,210		
				計算式	百万円/件	85,879/3	68,088/3	46,512/3	57,630/3		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 6年度		
	日本人宇宙飛行士のISSでの長期滞在をおよそ1.5年に1回の頻度で実現し、国内外に対して、我が国の有人宇宙活動のプレゼンスを発揮すること。	ISS参加各極との協力に基づき、直近6年で4回のISS長期滞在を実施している。(累積値)	成果実績	件	3	4	4	-	-		
			目標値	件	4	4	4	4	4		
			達成度	%	75	100	100	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	宇宙航空研究開発機構調べ										

<b>活動内容 (アクティビティ)</b>		「こうのとりのHTV-Xの運用による国際宇宙ステーション計画への継続的な貢献により可能となる宇宙環境利用(「きぼう」が持つ微小重力等の環境における実験機会の利用)を通じた科学的・学術的成果の創出								
<b>活動目標及び活動実績 (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
		宇宙ステーション補給機(HTV、HTV-X)の安定的かつ効率的な運用	JAXAが行う宇宙ステーション補給ミッションの実績	活動実績	件	1	1	0	-	-
<b>単位当たりコスト</b>		算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
		直近4年間にJAXAが行った宇宙ステーション補給機ミッションによるISSの共通的なシステム運用経費負担額(国際宇宙ステーション開発費補助金の内数)/直近4年間にJAXAが行った宇宙ステーション補給ミッションの実績(件数)	単位当たりコスト	百万円	28,626	22,696	15,504	19,210		
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度
		日本実験棟「きぼう」において実施する様々なテーマの宇宙実験から、執筆論文が被引用回数が世界でトップ10%に入るような質の高い研究成果を創出すること。	過去10年間における高被引用論文(※)数	成果実績	編	50	60	78	4年度	6年度
			※クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社のデータベースである、Essential Science Indicatorsでは、科学全体を大きく22の研究分野に分類しており、それぞれの分野において被引用数が上位1%の論文を高被引用論文(Highly Cited Papers)と定義している。	目標値	-	-	-	-	-	
達成度	%		-	-	-	-				
<b>根拠として用いた統計・データ名 (出典)</b>		クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社のデータベース「Essential Science Indicators」より。								
<b>政策評価、 画との関係</b>	<b>政策</b>	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応								
	<b>施策</b>	9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進	<b>政策評価書URL</b>	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_9-5.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_9-5.pdf</a>						
			<b>該当箇所</b>	9-5-7~9-5-9						

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	日本実験棟「きぼう」の維持・運用は、「民生用国際宇宙基地のための協力に関する宇宙基地協力協定」などの国際約束において日本政府の責任として定められており、国際的責務を果たすため必要な事業である。 また、「宇宙基本計画」(令和2年6月閣議決定)において、「我が国の国際的プレゼンスの向上にも寄与してきたISSにおける活動については、費用対効果を向上させつつ、宇宙環境利用を通じた知の創造に引き続き活かす」と記載されており、政策的にも非常に重要な事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国際宇宙ステーションの運用は、国際約束に基づき日本政府として実施するものである。また、国際宇宙ステーションへの補給を行うHTV-Xの開発・製造・運用などは、リスクが高い研究開発を行うものであり、地方自治体、民間等に委ねることはできない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「民生用国際宇宙基地のための協力に関する宇宙基地協力協定」等の国際約束に基づく取組であり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。  一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。  競争性のない随意契約となったものはないか。	○  有  有	JAXAにおける支出先の選定に当たっては、高度な専門性が必要となるもの等、一定の一者応札が避けられないものもあるが、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等によることとするなど、競争性・透明性を確保する取組を続けている。さらに、一般競争入札等により契約する場合であっても、入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかの自己点検を行うほか、調達案件情報及び参入ガイド等の情報発信、配布等を実施することで、新規参入企業の発掘や参入促進の取組をおこなっている。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	我が国の宇宙分野における自立性を確保することなどを目的に、国として実施すべき取組であり、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	JAXAにおいて使途・費目の精査を行って締結した契約に基づき、適切に取組が実施されており、資金の流れは中間段階でも合理的である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	中長期目標に基づき策定された中長期計画の履行に必要な取組を実施するために締結する契約に関して、JAXAにおいて使途・費目の精査を行っていることから、費目・使途は事業目的に即し真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	HTV-X打上げに使用予定のH3ロケットの開発試験において、追加確認を要する事項が発生し、令和3年度の打上げを延期することとなり、追加確認が完了するのを待つ必要があるため等であり妥当である。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	・プロジェクトへの移行時に行うプロジェクト移行審査において、コスト評価を実施しており、効率的な事業遂行に努めている。 ・JAXAでは、成果報告書、技術資料、調達仕様書等、事業に係る様々な資料を一つの文書体系にまとめて管理・共有することで、業務の標準化・効率化を図っている。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	独立行政法人通則法に基づき実施された各年度における業務の実績に関する評価において、当該事業は高い評価を受けており、その実績は目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	宇宙・航空分野の研究開発は高度な専門性が必要であるため、その知見を有するJAXAにおいて実施することで、より効果的な手段となっている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね当初見込み通りの実績を上げており、活動実績は見込みに見合ったものである。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	独立行政法人通則法に基づき実施された各年度における業務の実績に関する評価における「民間事業者との協業等の宇宙利用拡大及び産業振興に資する取組」の項目において標準評価以上の評価を受けており、整備された施設や成果物は十分に活用されている。

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	点検結果	<p>・契約については、高度な専門性が必要となるもの等、一定の一者応札が避けられないものもあるが、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等によることとするなど、競争性・透明性を確保する取組みを続けている。さらに、一般競争入札等により契約する場合であっても、入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかの自己点検を行うほか、調達案件情報及び参入ガイド等の情報発信、配布等を実施することで、新規参入企業の発掘や参入促進の取組をおこなっている。</p>			
改善結果	改善の方向性	<p>・契約の競争性、公平性、透明性を確保する観点から、引き続き、入札公告前のチェックシートを用いた競争性確保の自己点検、調達案件情報及び参入ガイド等の情報発信、配布等を実施することで、新規参入企業の発掘や参入促進に努めていく。</p>			
<b>外部有識者の所見</b>					
外部有識者による点検対象外					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
現状通り	この事業は、事業所管部局による自己点検及び行政事業レビュー推進チームによる点検の結果を踏まえ、特段の見直しは要しないものと考えられる。				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
現状通り	-				
<b>備考</b>					
-					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成23年度	23-0283				
平成24年度	24-0302				
平成25年度	25-0296				
平成26年度	26-0290				
平成27年度	27-0280				
平成28年度	28-0277				
平成29年度	283				
平成30年度	261				
令和元年度	文部科学省 - 0255				
令和2年度	文部科学省 0257				
令和3年度	2021 文科 20 0279				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省  
36,922百万円

事業概要  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構が実施する民生用国際宇宙基地のための協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国航空宇宙局との間の了解覚書に基づく援助業務等に要する経費に対して補助。

※差額は国庫に返却。

〔交付〕

〔A〕  
国立研究開発法人  
宇宙航空研究開発機構  
36,878百万円

事業概要  
国際宇宙ステーション（ISS）の運用を確実に実施、有人宇宙技術及び宇宙環境利用技術の獲得と「きぼう」利用推進等。

【随意契約（企画競争）等】

〔B〕  
民間企業等（176社）  
36,878百万円

事業概要  
国際宇宙ステーション（ISS）の運用を確実に実施、有人宇宙技術及び宇宙環境利用技術の獲得と「きぼう」利用推進等。

資金の流れ  
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）  
（単位：百万円）

費目・用途  
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載）

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務費	国際宇宙ステーション（ISS）の運用を確実に実施、有人宇宙技術及び宇宙環境利用技術の獲得と「きぼう」利用推進等	36,878	役務	HTV-X機体システム1～3号機の開発	4,241
計		36,878	計		4,241

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構	9012405001241	国際宇宙ステーション (ISS)の運用を確実に実施、有人宇宙技術及び宇宙環境利用技術の獲得と「きぼう」利用推進等	36,878	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱重工業株式会社	8010401050387	HTV-X機体システム1～3号機の開発を行う。 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間:2017年度～2024年度	4,241	その他	-	-	
2	三菱重工業株式会社	8010401050387	H3ロケット 新型宇宙ステーション補給機対応開発機体システム開発を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2017年度～2022年度	-	随意契約(その他)	-	-	
3	三菱重工業株式会社	8010401050387	月周回有人拠点居住棟 環境制御・生命維持サブシステムの機能制御統括システム開発を行う。	1,605	その他	-	-	
4	三菱重工業株式会社	8010401050387	月周回有人拠点居住棟 二酸化炭素除去装置の開発を行う。	1,382	随意契約(その他)	-	-	特定の技術を必要とし、システム開発を実施できる唯一の業者であるため。
5	三菱重工業株式会社	8010401050387	月周回有人拠点居住棟 有害ガス除去装置の開発を行う。	828	一般競争契約(総合評価)	1	-	
6	三菱重工業株式会社	8010401050387	H3ロケット HTV-X対応射点設備の改修整備(そのア)を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2019年度～2022年度	404	一般競争契約(総合評価)	1	-	
7	三菱重工業株式会社	8010401050387	2021年度 JEM軌道上運用に係る技術支援(そのア)を行う。	339	その他	-	-	
8	三菱重工業株式会社	8010401050387	月周回有人拠点居住棟 環境制御・生命維持サブシステムの機能制御統括システム開発準備を行う。	294	随意契約(その他)	-	-	
9	三菱重工業株式会社	8010401050387	JEM搭載小動物飼育装置補用品の調達(その6)を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2020年度～2021年度	158	随意契約(その他)	-	-	

10	三菱重工業株式会社	8010401050387	JEMシステム・共通実験装置 補用品の調達(その1のA)を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2020年度~2022年度	123	その他	-	--
11	三菱重工業株式会社	8010401050387	月周回有人拠点居住棟 二酸化炭素除去装置の開発準備を行う。	81	その他	-	--
12	三菱重工業株式会社	8010401050387	JEM搭載小動物飼育装置 補用品の調達(その7)を行う。	61	一般競争契約(総合評価)	1	--
13	三菱重工業株式会社	8010401050387	H3ロケット用1段エンジンの開発-エンジンシステムを行う。 契約時契約方式【随意契約(公募)】契約期間:2014年度~2022年度	44	随意契約(その他)	-	--
14	三菱重工業株式会社	8010401050387	月周回有人拠点居住棟 有害ガス除去装置の開発準備を行う。	38	その他	-	--
15	三菱重工業株式会社	8010401050387	小動物飼育ミッション推進・インテグレーション業務(その2)を行う。	11	一般競争契約(最低価格)	1	--
16	三菱電機株式会社	4010001008772	HTV-Xサービスモジュール1~3号機の開発を行う。 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間:2017年度~2024年度	10,827	その他	-	--
17	三菱電機株式会社	4010001008772	新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)向けHTV運用管制システムの機能付加(その3)を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2019年度~2021年度	181	その他	-	--
18	三菱電機株式会社	4010001008772	HTV-XバッテリーのGateway搭載化開発を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2020年度~2023年度	369	その他	-	--
19	三菱電機株式会社	4010001008772	2021年度 HTV-X地上システムに係る技術支援を行う。	16	随意契約(その他)	-	--
20	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2021年度 JEM運用業務を行う。	3,446	随意契約(企画競争)	2	--
21	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2021年度 ISS日本人宇宙飛行士健康管理運用業務を行う。	285	随意契約(企画競争)	1	--
22	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	FY2021「きぼう」日本実験棟実験運用に係るインテグレーション業務(物質科学)を行う。	62	一般競争契約(最低価格)	1	--
23	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	Gateway環境制御生命維持システムに係る研究開発作業支援を行う。	47	一般競争契約(最低価格)	1	--
24	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	FY2021「きぼう」日本実験棟実験運用に係るインテグレーション業務(生命科学)を行う。	36	一般競争契約(最低価格)	1	--





	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2021年度 JEMシステム・装置類の構造・破壊管理要求適合性審査に係る支援を行う。	11	一般競争契約 (最低価格)	1	--	
2	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	HTV-X2～3号機 技術調整支援を行う。	10	一般競争契約 (最低価格)	1	--	
3	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2021年度 JEM画像取得処理装置用地上データ処理装置(IPU-G)及び周辺装置の技術支援を行う。	10	随意契約 (その他)	-	--	
4	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2021年度 JEM画像取得処理装置用地上データ処理装置(IPU-G)設備更新対応作業の実施を行う。	9	随意契約 (その他)	-	--	
5	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2021年度 国際探査計画に向けた宇宙飛行士健康管理運用に関する検討支援を行う。	5	随意契約 (その他)	-	--	
6	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2021年度 国際宇宙ステーション輸送機に係る技術情報管理及び連絡業務を行う。	4	一般競争契約 (最低価格)	1	--	
7	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	月軌道プラットフォームゲートウェイに係る安全・ミッション保証業務支援(その4)を行う。	2	随意契約 (公募)	-	--	
8	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2021年度 HTV-X搭載機器の構造設計に係る技術調整支援を行う。	2	一般競争契約 (最低価格)	1	--	
9	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	HTV-Xシステムの故障診断・予知技術に関する概念検討(その1)(そのア)を行う。	1	随意契約 (少額)	-	--	
10	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	HTV-X搭載超小型衛星におけるフラクチャコントロール計画書の作成支援を行う。	1	随意契約 (少額)	-	--	
11	有人宇宙システム株式会社	5010001094250	2021年度 JEM搭載IceBox3等の安全審査支援を行う。	1	随意契約 (少額)	-	--	

12	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	ドッキング機構の開発を行う。	800	随意契約 (企画競争)	2	--
13	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	JEMシステム補用品の調達(その4のイ)を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2019年度~2022年度	794	その他	-	--
14	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	ドッキング機構の予備設計を行う。 契約時契約方式【随意契約(企画競争)】契約期間:2020年度~2022年度	279	その他	-	--
15	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	JEM搭載IVA補給型小型曝露実験プラットフォーム2型の製作を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2017年度~2022年度	251	その他	-	--
16	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	2021年度 JEM軌道上運用に係る技術支援(そのイ)を行う。	124	随意契約 (その他)	-	--
17	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	HTV-X向け「HTV補給ラック」フライトモデルの調達を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2020年度~2024年度	99	その他	-	--
18	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	HTV-X1~3号機 推進薬充填装置の準備作業及び後処置を行う。	69	随意契約 (その他)	-	--
19	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	HTV-X1号機搭載 衛星放出システムの設計・製作を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2020年度~2022年度	35	その他	-	--
20	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	2021年度 JEM搭載用静電浮遊炉の軌道上運用に関わる技術支援を行う。	14	随意契約 (その他)	-	--
21	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	2021年度「きぼう」からの超小型衛星放出機会提供に係る衛星打上げケースの製作を行う。	2	随意契約 (その他)	-	--
22	株式会社IHIエアロスペース	4010601031653	2021年度「きぼう」からの超小型衛星放出機会提供 小型衛星搭載作業および軌道上運用に係る技術支援を行う。	1	随意契約 (その他)	-	--
23	川崎重工業株式会社	1140001005719	月周回有人拠点居住棟 温湿度制御装置の製作を行う。 契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2020年度~2023年度	1,121	その他	-	--

24	川崎重工業株式会社	1140001005719	JEMシステム補用品の調達(その5のオ)を行う。	167	随意契約(その他)	-	-
25	川崎重工業株式会社	1140001005719	2021年度 JEM軌道上運用に係る技術支援(そのオ)を行う。	46	随意契約(その他)	-	-
26	川崎重工業株式会社	1140001005719	基幹ロケット射点設備の改修整備(整備組立棟等)(その2)を行う。	22	随意契約(その他)	-	-
27	川崎重工業株式会社	1140001005719	月周回有人拠点居住棟IMV関連機器の実現性検討を行う。	4	一般競争契約(最低価格)	3	-
28	川崎重工業株式会社	1140001005719	2021年度 JEMシステム補用品の点検を行う。	3	随意契約(その他)	-	-
29	日本電気株式会社	7010401022916	HTV-X用Flash LIDARの開発(その5)を行う。契約時契約方式【随意契約(その他)】契約期間:2020年度~2021年度	483	その他	-	-
30	日本電気株式会社	7010401022916	2021年度JEM軌道上運用に係る技術支援(そのウ)を行う。	163	随意契約(その他)	-	-

B3

	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	JEMシステム補用品の調達(その3のウ)を行う。	140	随意契約(その他)	-	-	
2	日本電気株式会社	7010401022916	2021年度 JEM運用システムに係る改善、試験対応等の実施を行う。	34	随意契約(その他)	-	-	
3	日本電気株式会社	7010401022916	2021年度 JEM運用管制システム仮想化基盤等の保守ライセンス購入を行う。	17	随意契約(その他)	-	-	
4	日本電気株式会社	7010401022916	2021年度 HTV-X対応PROXチェックアウトに係る地上局運用及びRF系技術評価支援を行う。	11	随意契約(その他)	-	-	

5	明星電気株式会社	2010001007784	月周回有人拠点居住棟映像伝送系の開発を行う。	150	一般競争契約 (総合評価)	2	--
6	明星電気株式会社	2010001007784	月周回有人拠点居住棟映像伝送系の開発準備を行う。	56	一般競争契約 (総合評価)	2	--
7	明星電気株式会社	2010001007784	JEM船外小型ペイロード支援装置(SPySE)データインタフェース装置の改修を行う。	25	随意契約 (その他)	-	--
8	明星電気株式会社	2010001007784	JEM船内可搬型ビデオカメラシステム実証2号機(Int-Ball2)機体システムの改修を行う。	22	随意契約 (その他)	-	--
9	明星電気株式会社	2010001007784	2021年度 JEM軌道上運用に係る技術支援(そのケ)を行う。	9	随意契約 (その他)	-	--
10	明星電気株式会社	2010001007784	Gatewayプログラム 映像伝送系放射線試験の実施(その2)を行う。	2	一般競争契約 (最低価格)	2	--
11	明星電気株式会社	2010001007784	HTV-Xモニタカメラ制御用治具の製作を行う。	2	随意契約 (少額)	-	--
12	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	2021年度有人部門J-TMISシステム・アプリケーションの運用管理を行う。	119	一般競争契約 (最低価格)	1	--
13	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	2021年度 JEM、実験及びHTV-X運用システムの維持管理業務を行う。	53	随意契約 (その他)	-	--
14	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	FY2021 Gateway居住棟搭載型 環境制御生命維持システムモデルベース開発支援を行う。	33	一般競争契約 (最低価格)	1	--
15	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	2021年度 国際宇宙ステーション・「きぼう」等に係る技術情報調査を行う。	17	一般競争契約 (最低価格)	1	--
16	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	2021年度 追跡ネットワーク運用業務(そのア)を行う。	16	随意契約 (公募)	-	--

17	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	2021年度 HTV-X通信系インタフェース試験等の技術支援を行う。	8	一般競争契約 (最低価格)	1	--
18	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	2021年度 増田PROX チェックアウト地上局の維持管理を行う。	6	一般競争契約 (最低価格)	1	--
19	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	2021年度 JEM実験データ外部配信システム(J-PDDS)の技術支援を行う。	3	随意契約 (その他)	-	--
20	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	HTV再突入安全監視設備/XOCSインタフェース試験支援を行う。	3	随意契約 (その他)	-	--
21	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	HTV-X運用管制システム 勝浦バックアップ管制室用 サーバ計算機ラックの整備 を行う。	2	随意契約 (少額)	-	--
22	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	JEM搭載光衛星間通信システムにおける通信バス解析支援を行う。	1	随意契約 (少額)	-	--
23	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	JEM無線LAN実験試験局 免許申請手続きの技術支援を行う。	1	随意契約 (少額)	-	--
24	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	NCU実験局及び、RSU実験局再免許申請手続きの技術支援を行う。	0.4	随意契約 (少額)	-	--
25	宇宙技術開発株式会社	3011201000611	2021年度鹿児島宇宙センターネットワークおよび打上げ関連情報システム等の運用を行う。	0.1	一般競争契約 (最低価格)	1	--
26	千代田化工建設株式会社	3020001018029	CO2 除去システム軌道上実証装置の開発(その1)を行う。	146	一般競争契約 (最低価格)	1	--
27	千代田化工建設株式会社	3020001018029	ライフサイエンス実験用ライフイメージングシステム(COSMIC)の補用品整備(その2)を行う。	45	随意契約 (その他)	-	--
28	千代田化工建設株式会社	3020001018029	2021年度 JEM軌道上運用に係る技術支援(そのク)を行う。	39	随意契約 (その他)	-	--

29	千代田化工建設株式会社	3020001018029	ライブイメージングシステム(COSMIC)制御用ソフトウェアの改修(その2)を行う。	7	随意契約 (その他)	-	-	
30	千代田化工建設株式会社	3020001018029	2021年度JEM搭載用ライブイメージングシステム(COSMIC)の軌道上運用に関わる技術支援を行う。	5	随意契約 (その他)	-	-	

B4

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	兼松株式会社	7140001005647	H3ロケット追尾局(HTV-X対応海外局)の開発を行う。	184	随意契約 (企画競争)	1	-	